

福島県桑折町

「総合計画策定に当たって」
～政策自治体への展開を目指して～

2019年12月19日

ふくしま自治研修センター教授
奥原 英彦

■ 本日の構成

- 1 これからの地方自治体(自治体行政の考え方)
- 2 総合計画とは
 - 総合計画の意義～何のための総合計画か～
 - 桑折町の総合計画体系
- 3 まちづくりのポイント
 - 0～3次元で考える
 - 現代版「楽市・楽座」の町
- 4 有識者会議 7つの提言

■ これからの地方自治体

個性と自立 ⇔ 「政策自治体」の時代

- 地域活性化を目指して、「競争」と「共創」に突入
- 横並び意識(護送船団)では、自立は困難な時代に

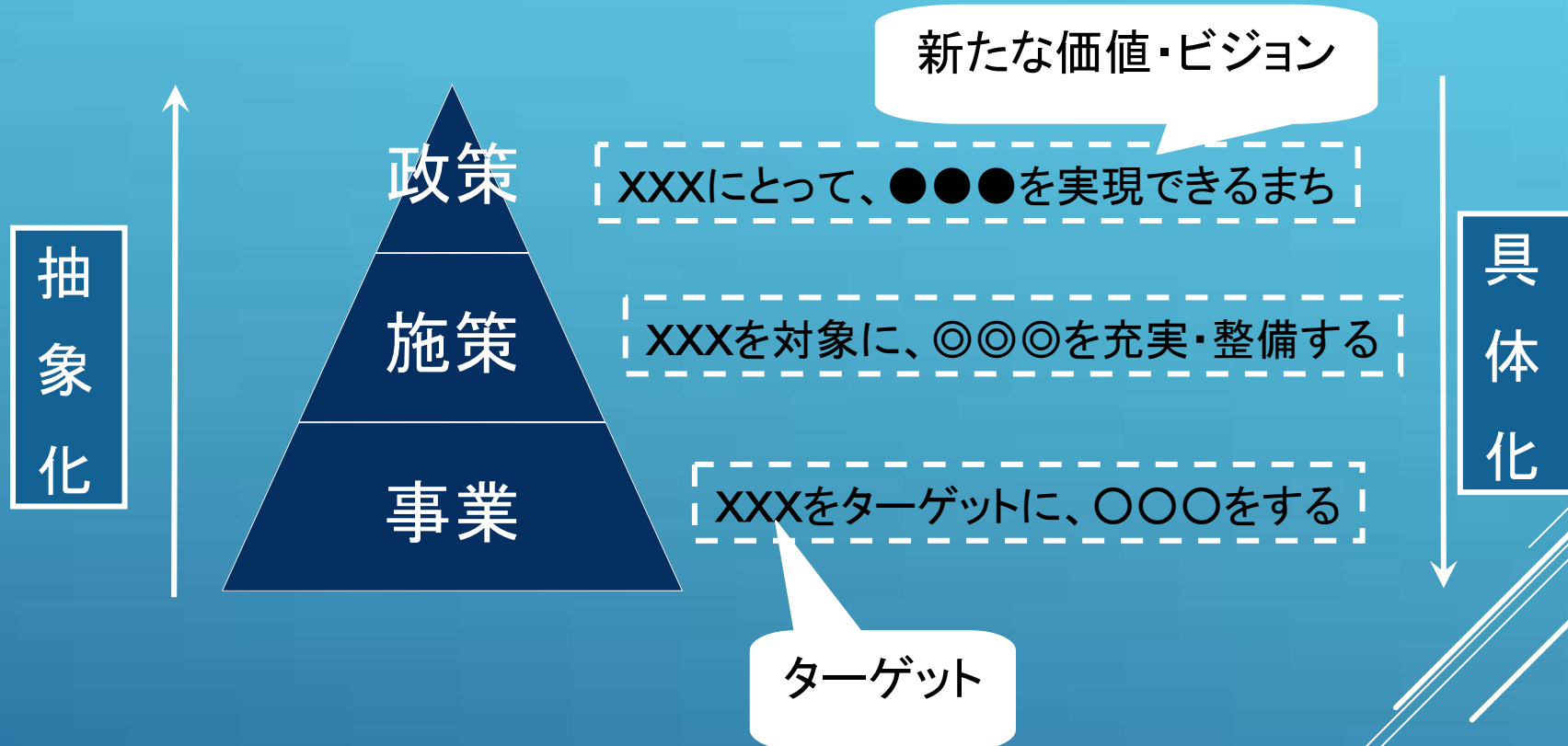
個性と自立の政策とは

- ①価値性…………… 地域に新たな価値をもたらすか
(⇔ビジョン不明、ピンボケ は避ける)
- ②新規性…………… ユニーク・オリジナルか
(⇔金太郎飴、差別感なし は避ける)
- ③戦略性…………… ターゲットは明確か
(⇔ターゲットがわからない は避ける)
- ④実効性…………… 目的に合った「効果」が期待されるか
(⇔効果がイメージ出来ない は避ける)

■ 総合計画とは

- 1 地域の経営計画（羅針盤）である
羅針盤なくして、地域経営は成功しない
- 2 政策-施策（-事業）体系（ツリー構造）の構築
事業を束ねてホッチキスで止めたものではない
- 3 織物を紡ぐ総合性を持つ⇔個性の柄が見えてくる
 - 横糸を紡ぐ ⇔ 重点プロジェクト
 - 縦糸を紡ぐ ⇔ 部門計画
- 4 横連携によるワン・チーム化
 - 何のための施策（事業）か考える
 - 同じ目的なら横連携（部門連携）を意識する
 - 仲間意識を持てれば強い

■ 政策体系の構造（ツリー構造）



■ まちづくりのポイント

まちづくり ⇔ 希望と期待に溢れた空間

○ 横連携で、躍動感に満ちた桑折町の実現へ

個性と自立の政策とは

0次元…… 安全性(安心感) (生物としての本能)

例 公園(歩行者天国)でお買い物

1次元…… 利便性(経済・効率) (都市(現代)的サービス)

例 まとめ買いで配達サービス

2次元…… 快適性(ユッタリ感) (五感で感じる)

例 商店トイレの清潔感

3次元…… 躍動性(ワクワク感) (人間としての本能)

例 夜でも楽しめるまち

■ 桑折町のまちづくり(イメージ)

地政学的に見た桑折町の未来イメージ

躍動感に満ちた桑折町で地域GDP1,000億円超の町へ
～民間シンクタンクなら、こう描くかも～

相馬福島道路IC周辺を現在の楽市・楽座に

- (県北+会津+相双+仙台)経済圏でGDP10兆円
- この経済圏の十字路に「アリーナ(メッセ)」を誘致
- 花火+ナイトエコノミー(スポーツ)の導入で、
東北に24時間型経済の創造(小さな世界都市)



■ 有識者会議 7つの提言

- 1 “ターゲットを意識した
”シティプロモーションの充実
- 2 “事業の横連携”による桑折町の魅力の再発見
- 3 “多世代・多様な主体の力”を活用した元気なまちづくり
- 4 “桑折版ネウボラ”の更なる充実と
豊かな子育て環境の整備
- 5 “ソフト・ハード連携”による健康長寿な町づくり展開
- 6 “現代の追分産業（流通・サービス業”創出の支援
- 7 “災害リスク”に備えた多自然型地域づくり